

富山県中小企業家同友会

経営者大学第17期のご案内

～幅広い学びを通して、経営者としての総合力を向上させることを目指そう！～

2002年にスタートした経営者大学も17期を迎えました。私たち中小企業が経営を維持発展させていくためには、社員を採用・教育し、その能力を主体的に発揮する仕組みや環境をつくるのが大切です。

そのためには、経営者の力量を更にアップさせるだけでなく、経営理念を社員と共有して、社員がイキイキと働ける組織や風土に、会社を変革していく必要があります。

第17期は、激変する経営環境についてあらためて再確認すると共に、“持続可能な企業や地域の在り方を探り、地域社会に根差す私たち中小企業の役割への理解を深め、地域づくりを自社の課題として捉えて取り組もう”という視点から内容を組み立てました。

講師には、富山大学のご協力による各分野のエキスパートに協力頂きました。

現在の経営環境を「全員経営」で打破していく！という視点で、これからの方向性や展望を考えるヒントと勇気が湧いてくる内容であると確信しております。 **ぜひ、幹部の皆さんと一緒に参加ください。**

経営者大学の目的：激動期を確かに生きるための知識を様々な角度から学び、これからの社会と経営の発展方向を洞察し、「共育」力を身につけます。

《募集要項》



■対象 経営者・後継者・幹部社員

■日程 2019年2月1日（金）、2月14日（木）、3月8日（金）全3講

*全講出席者には、修了証授与

■会場 富山大学 生涯学習部門 第一学習室（申込者には案内図送付）

■時間 18:00～21:00 **時間厳守！！**

■内容 カリキュラムは裏面参照

＜主な進め方＞ 講義＋グループ討論＋補足講義が基本ですが、内容によっては異なります。

■定員 30名 ※対象：経営者、後継者、幹部社員

■受講料 会員企業一人10,000円（同一企業で複数参加の場合は、2人目からは5,000円）
会員外企業一人15,000円） *単講受講、1回5,000円

■申し込み FAX：076-452-6116 TEL：076-452-6006

主催：富山県中小企業家同友会 三位一体経営推進協議会 協賛：富山大学地域連携推進機構生涯学習部門
切 り 取 り 線

経営者大学 第17期 参加申込書

会社名

	参加者氏名(フリガナ)	役 職	年 齢	単講受講希望の場合は講座番号記入
1				
2				
3				

第17期経営者大学<カリキュラム>

	日時・講師	テーマ・学ぶポイント
第1講	2月1日(金) 講師 原 隆史 氏 富山大学 都市デザイン学部 教授	「災害、そのとき、あなたの会社はどうしますか？」 地震や洪水などの災害は、地域を問わずに発生する可能性が十分にあります（例えば、20年ほど前に神戸で大きな地震がありました【兵庫県南部地震】、あの地震が起きる前の神戸は、「今の富山より地震に対して何倍も安全」と言われていました。でも起きたのです）。 このため、富山においても災害は身近な問題なのです。 災害が発生したとき、あなたの会社の社員の安全性、社員の家族への社員や会社としての対応、しいては会社経営継続のための対応などが重要となります。 そこで本講座では、以下の構成からこの問題について考えていきます。 1. 富山での災害と会社対応について考える（グループディスカッション：30分） 2. 富山における災害（防災意識の向上の講義：45分） 3. 会社における災害・経営継続対応（グループディスカッション：40分） 4. プレゼンテーション・全体討議（50分） この問題、一度みんなで真剣に考えてみませんか？
第2講	2月14日(木) 講師 久保田善明 氏 富山大学 都市デザイン学部 教授	「デザイン思考で地域づくりを考えよう」 ビジネスの分野でも「デザイン思考」という言葉がたびたび聞かれるようになり、少しずつ定着してきているように思います。「デザイン思考」とは、新しいアイデアを生み出し、実現していくための創造的な思考法や思考プロセスのことをいいます。平成30年度より富山大学に新設された「都市デザイン学部」では、この「デザイン思考」を積極的に取り入れ、全学生に「デザイン思考」の修得を必修としています。つまり、これからの時代に求められる知性とは、単なる知識の量だけをいうのではなく、その知識を人々のネットワークの中で、いかに創造的に使いこなし、実践することに役立てていくかという、創造的な問題解決への姿勢も含まれます。今回は、「地域づくり」をテーマに、ワークショップ形式で「デザイン思考」の基礎を学んでいきたいと思っています。
第3講	3月8日(金) 講師 堀田裕弘 氏 富山大学 都市デザイン学部 副学部長 教授	「各種データから富山に適した新しいビジネスを探ろう」 Society 5.0に代表されるように、IoT, AI, BDが次代のビジネスモデルを策定するうえでキーテクノロジーとなってきた。 RESASや各省庁の白書など様々なオープンデータを利活用しながら富山の現状と課題を把握し、これらの知識を基に次代の富山を支えるビジネスモデルをPBL形式で考えていきます。分野は第1次産業から第6次産業までさまざま。どのような状況・情報をセンシングして、それを処理・分析し、ユーザに付加価値あるサービスとして提供していくのがよいのか。 より実りある機会とするために、参加者には、協議すべき事前に設定した分野に関して、RESASや各省庁の白書など様々なオープンデータや情報を事前に調べ学習して頂き、当日その発表をグループ内で行うことでPBLをスタートさせていきます。